

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 審議概要

開催日及び場所	令和2年7月30日（木） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 我妻 崇【弁護士】 部会長代理 小出 英夫【（学）東北工業大学 工学部 教授】 委員 砂田 洋志【（国）山形大学 人文社会科学部 教授】		
審議対象期間	令和元年10月1日 ～ 令和2年3月31日 （上記期間に契約締結した案件を審議）		
審議案件	総件数 6件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	（備考） ・審議に先立ち、下記(1)～(8)について、報告が行われました。 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、 役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	3件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	1件	
	役務の提供等及び物品の製造等	1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地（埋没）浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	1者	1者	R元. 11. 1	みらい建設工業（株）	902,000	97.77%	八戸港空

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地（埋没）付帯施設消波工事（その2）	港湾土木工事	2者	2者	R元. 11. 25	北日本海事興業（株）	104,280	98.56%	八戸港空
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	久慈港湾口地区防波堤消波工事	港湾土木工事	6者	6者	R元. 11. 12	（株）小山組	139,700	90.21%	釜石港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤（南）付帯施設築造工事（その3）	港湾土木工事	10者	9者	R2. 1. 30	東洋建設（株）	304,131	90.34%	塩釜港空

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型プロポーザル方式	久慈港湾口地区防波堤周辺影響検討業務	建設コンサルタント等	7者	5者	R元. 11. 13	（株）アルファ水工コンサルタント	15,620	99.74%	釜石港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締 結 日	契約の相手方	契 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	パーソナルコンピュータ外借上【5年国債】	役務の提供等	1者	1者	R元. 10. 10	富士通リース（株）	68,057	99.99%	港湾空港部

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札額に開差があったとの報告案件について、応札額が高くなっている者にはどのような理由があったのか。 ・ 何か明確な違算があったのか、それともそれ以外の理由からなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象物件本体の製造元からの技術者派遣を見積しており、その費用だけで開差額の半額以上を占めていて、その他諸経費を加えて大きな開差となっておりました。 ・ 対象物件に対する熟知度の差と自社履行とならない部分で開差が生じたものと考えております。

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 八戸港八太郎・河原木地区航路泊地（埋没）浚渫工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数が少数となることが想定されていたのかどうか。 ・ 発注時期をずらして、参加者数を増加させる取り組みは可能かどうか。 ・ 浚渫時期や附帯する他工種をまとめたりすることができなかつたとのことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事では、使用する主作業船が八戸港に在場しており、船舶保有者には有利となります。今回の発注は浚渫のみの単一工種であり、附帯する他工種もなかったことから、他者はこの発注規模では経費節減の要素が見込めなつたと考えられます。 また、大型浚渫船は全国に何隻もなく西日本に多く在場している傾向があり、近隣まで来ていれば参加し易くなる条件はありますが、発注時点ではなかつたと考えております。 ・ 本工事は、施工時に濁りが多少発生するため漁業への影響のない時期に行う必要があり、この時期に発注せざるを得ない工事です。 ・ そうです。
2 八戸港八太郎・河原木地区航路泊地（埋没）付帯施設消波工事（その2）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札額の開差が少額となっているが、具体的な内訳ではどのようにな違いがあったのか。 ・ 直接工事費にはそれほど差がないとのことだが、直接工事費での差が他の内訳で縮まっているということなのか。 ・ 製作時期をずらすことで、参加者を増加させるというようなことは可能か。 ・ 総合評価の加算点の違いについては、どのようになっているのか。 ・ その2工事となっているが、先発工事の発注時期と入札結果はどうだったのか。 ・ 八戸港で工事発注が多数あるが、受注者が異なることでデメリットはないものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般管理費等で参加各社に経費縮減の違いが見受けられていますが、直接工事費ではそれほど差がない状況でした。 ・ 直接工事費では、ほぼ積算基準や公表単価のとおり差がない状況で、一般管理費等で受注意欲のある者ほど、経費縮減をした見積をしているものと考えております。 ・ 本工事については、タイムリーに次の本官工事に支給する計画となっているものです。本工事のようにブロックの場合は、事前に製作しておくことは可能と考えられますが、支給するまでの仮置期間に応じた用地借上が必要となるため、別途費用がかかることとなります。 ・ 企業の技術力の評価では、完成引渡しした工事の成績評定点の平均点と、表彰実績の有無において、配置予定技術者の技術力の評価では、完成引渡しした工事の成績評定点の平均点と、CPDの取組状況においてそれぞれ差がありました。 ・ 前期の審議対象期間のもので、9月30日契約で本工事と同じ受注者となっております。 ・ 競争参加資格要件として、同種工事实績を設定しておりますので、品質確保されるものと考えております。 なお、特殊建設機械を使用する工事では一日作業とならないことも多く、隣接工事現場で受注者が異なる場合は建設機械の取り合いとなりかねない一方で、同一受注者となる場合は現場運営で融通できるメリットは考えられます。

<ul style="list-style-type: none"> ・分割発注しなければならないものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小建設業者の受注機会の確保対策として、事業の効率的な実施に配慮しつつ、上位等級への参入拡大、コスト縮減や競争性が確保される範囲内での分離・分割発注することとされており、工事の発注規模・難易度を勘案して発注計画しているところです。
<p>3 久慈港湾口地区防波堤消波工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・台風災害で多忙となる中でも多数参加があったが、地域事情として技術者が充足していたのかどうか。 ・本工事のように調査基準価格に張り付く結果となる一方で、ブロック製作など比較的積算が容易である工事でも予定価格に張り付く結果となるものもあるが、どのような違いがあると考えられるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈港におけるブロック製作工事については、上半期の発注が1件のみであったことから、各社とも実績を有する技術者に余裕があったものと考えております。 ・本工事と同種工事である昨年度1件目の前工事の落札率が低かったことから、参加各社はこの公表結果から応札額を決定したのと考えられます。 なお、高い落札率となった時期もありましたが、生コン単価が市場単価に反映される以前の契約となったもので、最近では価格が安定してきており、精度の高い応札が可能となっているものと考えられます。
<p>4 仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤（南）付帯施設築造工事（その3）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・別件その2工事の施工箇所は、本工事の反対側なのか。 ・別件その2工事の落札者が施工すれば、安価にできることは考えられないか。 ・別件その2工事と一括発注すれば経済的とも考えられるかどうか。 ・総合評価にCPD取組状況とあるが、またICT活用工事としているのは全ての工事で実施しているのかどうか。 ・調査基準価格同額の応札者もあるが、調査基準価格や予定価格をどのようにして推察していると考えられるのか。 ・同額応札者については、工事費内訳まですべて一致しているものなのかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図で示されているところの一番東側の箇所になります。 ・その2工事の受注者は本工事にも入札参加しておりましたが、配置予定技術者を兼ねていたため、その2工事の落札決定後に本工事については辞退しております。 なお、その2工事も本工事も同様な応札状況となっております。 ・本工事は、中小企業対策して発注等級をB等級まで緩和しております。 また、工事の特徴として漁業への影響により施工時期が限られることから、その2工事と本工事の同時施工が求められており、一者で海上起重機船2隻を確保するには困難となることも想定され、丁場を分けて作業エリアを確保しなければならない施工上の特性から分割発注として計画しました。 ・CPDについては、総合評価の全国版ガイドラインにより、各地整で自主性を以て設定しているものであり、総合評価のタイプによって評価項目としています。 また、ICTについても義務づけではなく、受注者が希望に応じて取り組むものについては、評価項目として加点しています。 ・本工事は、港湾における海上工事としては標準的な工種であり、先発工事の発注もあったことから、推定が容易になったものと考えられます。 また、契約締結後には、入札参加各社が情報公開制度を活用して積算内容の開示を求める件数が多数あり、後続の次工事や他工事での参考としているものと考えられます。 ・工事費内訳の直接工事費、間接工事費、現場管理費、一般管理費の各項目ではそれぞれ差異がありますが、当局積算を推計したうえで、入札参加各社の協力会社など施工体制の違いにより、諸経費で調整しているものと考えております。
<p>5 久慈港湾口地区防波堤周辺影響検討業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・見積合わせの回数が5回となっているが、第1回目価格から始まっているのはどのような理由からなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務はプロポーザル方式となっており、入札説明書において事前に概算額を記載していることから、見積業者は、当該概算額から順次希望額を提示したものです。
<p>6 パーソナルコンピュータ外借上【5年国債】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・本調達には港湾空港関係部門のみのものなのか。 ・他部門との一括調達は考えられないものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。 ・共同調達としては、作業服や事務用品では実績がありますが、本調達については物品規格も異なるものであり、調達時期など計画段階からの調整も必要であるため、対象としてはおりません。

<ul style="list-style-type: none"> ・端末とネットワークは別契約としているのか。 ・メーカーは指定していないのか。 ・メーカーが違えば調達価格も変動すると考えられるが、予定価格はどのように設定しているのか。 ・見積依頼され方は自社の見積が採用されているかどうか分からないものなのか。 ・従前までと今回の契約者に入り替わりはあるか。 ・従前からのメーカーが切り替わって、不具合等はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。 ・しておりません。 ・時期的にウィンドウズ7から10への移行と重なり、参考見積依頼に対応していただける業者も一者のみでした。 入札段階では、入札参加資格確認者に見積依頼をして予定価格を設定しているので、実勢価格での調達と考えております。 ・入札参加者は、他の参加希望者の有無は知り得ませんが、自社の見積がそのまま積算金額に反映されたかどうかはわかりません。 ・別の業者となっております。 ・ございません
---	---